# 日本一のコンパクトシティ蕨 スーパー・シティプロジェクト ~未来への飛躍、選ばれるまちづくりへ~ 地域まちづくり計画



令和7年6月 蕨市

## 取組の概要

### まちづくりにおける課題

蕨市は、交通利便性の高さなどから若年単身者を中心に人口増が続いているものの、今後、人口は減少傾向で推移していくことが想定されている。

日本全体で人口減少と少子高齢化が本格的に進行するなか、本市においては、地域活動の担い手不足やコミュニティの希薄化、生産年齢人口の減少などによる地域経済やにぎわいの減退などが懸念されるため、将来にわたり都市の活力を維持していくための対策を講じていく必要がある。

また、増加する高齢者の健康寿命の延伸を図るため、コンパクトシティという本市の特性を生かした健康づくりに取り組むとともに、近年頻発する自然災害への備えの強化など、誰もが安全に安心して住み続けられるまちづくりを推進していくことが重要である。

更に、これらの取組に当たっては、ICTの利活用を進め、市民の利便性向上 や行政事務の効率化を図り、人員や財源に限りがある中においても、質の高い 行政サービスを提供していくことが必要である。

### まちづくりの方向性

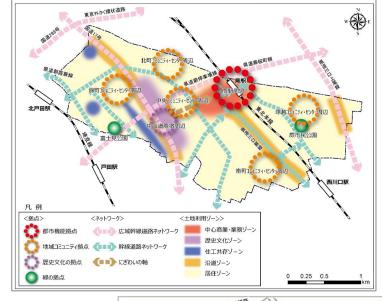
本市のまちづくりの最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン II に掲げる 目指すまちのビジョン「**安心・にぎわい・未来 みんなで創る みんなにあたたかい みんなのまち 蕨**」の実現に向けて、まちの強みである市民との協働を基軸 としながら、誰もが安心して住み続けられるとともに、まちの活力にあふれ、未 来を担う子どもたちが輝くまちづくりを加速化し、人口減少社会にあっても選ば れる、魅力あるまちづくりを推進していく。

更に、こうした本市の特色などを生かしながら、本計画で示すまちづくりのコンセプトに基づく各種事業の展開を図り、3つの要素(「コンパクト」、「スマート」、「レジリエント」)を兼ね備えたまちづくりを推進していく。

#### 他の計画における位置付け

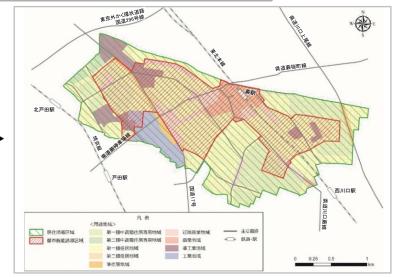
- ·「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンⅡ(総合計画)
- ・蕨市都市計画マスタープラン、蕨市立地適正化計画
- ・蕨市中心市街地活性化プラン
- •第3次環境基本計画
- ・第3次健康アップ計画
- ・スマートウエルネスシティ蕨アクションプラン等

## 対象地域及び区域 市全域



▼蕨市全域 (将来都市構造)

居住·都市機能 誘導区域▶



## 地域の現況

#### 人口・世帯の状況

蕨市の総人口は、高い交通利便性などを背景として増加を続けており、令和7年4月1日現在で76,357人と直近10年間で約3,400人の増加となっている。

年齢3区分別の人口構成比では、年少人口(O~14歳)は、令和2年から令和6年までの間で0.4%減少しており、老年人口は横ばいとなっているものの、75歳以上は、同期間で0.9%増加しており、今後更なる少子高齢化の進行が予想される。

世帯の状況では、国勢調査に基づく一般世帯数は増加傾向にあり、令和2年で36,784世帯となっている。また、単身世帯の割合も増加し、令和2年で46.2%に達しており、全国平均(38.0%)や埼玉県平均(34.0%)と比べ、単身世帯の割合が相対的に高くなっている。

#### 地域交通の状況

市内には、JR京浜東北線蕨駅があるほか、隣接する川口市にあるJR京浜東北線西川口駅、戸田市にあるJR埼京線北戸田駅、戸田駅、戸田公園駅も徒歩圏内で利用可能となっている。鉄道に加え、路線バスやコミュニティバス(4ルート)も運行されており、市全域のほとんどが鉄道またはバス停の利用圏でカバーされている。

道路交通は、かつての中山道が国道17号として市内を縦貫し、広

域幹線道路の役割を果たしている ほか、主要地方道や一般県道が各 方面に伸び、また、市の北側には東 京外かく環状道路が位置し、高速道 路へのアクセスも容易な地域となっ ている。



コミュニティバス「ぷらっとわらび」

#### 開発の状況

本市の令和2年(2020)年の市街地の整備状況をみると、昭和19 (1944)年に完了した住宅営団による三和町地区(現在の南町2、3 丁目の各一部)の事業をはじめ、土地区画整理事業(8地区)、市街地再開発事業(2地区)、都市基盤整備公団による蕨錦町・上戸田地区の事業が完了している。

現在は、錦町地区においては、土地区画整理事業、中央第一地 区においては、地区計画制度を活用した住宅市街地総合整備事業 を実施している。

また、蕨駅西口地区において、市街地再開発に取り組んでおり、 令和9年度の竣工に向けて再開発組合と連携を図りながら、着実 に事業を推進している。

### 地域資源

蕨市は、古くから中山道の宿場町として栄え、その後、機(はた) 織物のまちとして、経済の基盤を築き、戦後は、首都圏の拡大とと もに、住宅都市として順調に発展を続けている。交通利便性も高く、 市全域が市街化区域となっており、成熟した都市である一方、中山 道本町通りには、今なお宿場町の面影を残す建築物が点在し、風 情ある街並みが現存している。

現在も、蕨の歴史がしのばれる機まつりや宿場まつりなどの催しが開かれているほか、成人式発祥の地、日本ー早く実がなる「わらびりんご」、伝統織物「双子織」など、市域面積5.11kmと日本一のコンパクトシティの中に豊富な地域資源を有している。



日本一早く実がなる「わらびりんご」

## まちづくりのコンセプトと事業全体の概要

## まちづくりのコンセプト

## ~未来への飛躍、選ばれるまちづくり~

- ・まちの活性化と魅力ある空間づくりに向けて、蕨駅西口再開発事業による駅前整備や、中山道地区における新たなにぎわい交流拠点を構築するとともに、駅前と中山道を繋ぐ駅前商店街通りのリニューアル整備などを通じて、市内全域ににぎわいを創出・波及させ、市の魅力の向上を図り、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進する。
- ・健康寿命の延伸や市民生活の向上を図るため、誰もが健康で幸せに 暮らせるまち「スマートウエルネスシティ」の推進に向けて、コンパクトシ ティの特性を生かしつつ、中心市街地活性化事業とも連動し、ウォーカ ブルなまちづくりを進めるほか、ICT技術を各分野に導入し、行政情報 の発信など市民サービスの質的向上に努める。
- ・災害に強い防災都市づくりの加速化を図るため、避難所となる公共施設等の機能強化やインフラ設備の耐震化・長寿命化の促進、再生可能エネルギーの利活用などを通じて、持続可能なまちづくりを進める。

## 推進体制

本地域まちづくり計画の実現に向けて、まちづくりのコンセプトに基づき、 各事業の着実な推進を目指す。また、市の最上位計画においては、まち づくりの根底に位置付けて重視すべき理念として「市民参画・協働」を掲 げており、各事業の推進に当たっては、市民や団体、民間事業者、大学 など多様な主体との連携促進を図っていく。

#### 【庁内推進体制】

- 経営戦略推進本部(市長を本部長とし市の経営戦略に係る重要事項等を協議)
- ・健康づくり推進庁内検討会(全庁をあげてスマートウエルネスシティを推進する ため組織横断的な構成員により協議を実施)等

#### 【個別事業推進体制】

- ・仮称)にぎわい交流拠点整備検討会議(市,商工会議所,民間事業者等で構成)
- •蕨駅西口地区市街地再開発組合 等

### 事業全体の概要

#### ■□コンパクト□■

## まち全体の活性化に繋がるにぎわい創出と交流促進、 スマートウエルネスシティづくりの推進

- ・現図書館移転後の跡地や市役所仮設庁舎跡地などの市有地の活用、 蕨駅西口再開発事業などによる中心市街地活性化の推進
- ・にぎわい創出と連動したスマートウエルネスシティ(健幸)づくりの推進による、誰もが健康で元気に幸せに暮らせるウォーカブルなまちの実現
- ・中山道地区におけるにぎわいを創出する新たな交流拠点の整備
- ・コミュニティ・センター等の充実・強化による地域力向上
- ・ポートの増設によるシェアサイクル事業の推進 等

#### ■□スマート□■

## ICT技術活用による市民サービスの向上により、 誰一人取り残さないまちの実現

- ・ICTを活用した行政情報、防災情報伝達の強化
- ・市民の利便性の向上を図るための遠隔相談の取組
- •Wi-Fi整備など公共施設のICT化
- ・市民の健康寿命の延伸や医療費の抑制を図るためのICT技術導入による健康データの活用
- ・電動車いすシェア事業などICTを活用した新たな交通サービス 等

## ■□ レジリエント □■

## 災害に対するレジリエンスの強化を図り、

### 災害に強いまちづくりの推進

- ・ソーラー蓄電池ステーション導入による災害時の電源確保、再エネ・省 エネの加速化
- ・上・下水道、橋梁などを含む公共施設・設備等の耐震化・長寿命化
- ・環境にやさしく災害時に電源確保ができるシェアサイクル事業の充実、 公用車やコミュニティバスのEV化 等

## 計画図

#### スマート コンパクト

- ・市民の健康寿命の延伸や医療費の 抑制を図るためのICT技術導入に よる健康データの活用
- ウォーカブルなまちづくりに向けた インフラ整備(歩道の整備、公園 への健康遊具設置等)

## レジリエント

・公共施設・設備の 耐震化の実施、 上・下水道の耐震化等



#### スマート

## コンパクト

- ·ICT技術の活用した行政情報の 発信、防災情報伝達の強化、 遠隔相談の実施
- ・ICT技術の活用を含むコミュニティ・ センター等の機能の充実・強化 (公共施設予約

システムの導入、 多世代交流拠点 の整備等)



## 蕨市取組イメージ図

市役所通り

#### スマート

- ・雷動車いすシェア事業の実施
- ・公共施設へのWi-Fi設置



**尿前簡洁笛通**り



蕨駅

現図書館

## コンパクト

コンパクト

駅西口地区に蕨の新たな顔となる

駅前広場や魅力的な商業施設、

図書館など公共公益施設を整備

都市型住宅、行政センターや

図書館跡地における 文化芸術の拠点整備

## コンパクト

中山道

国道门身

歴史かおる中山道地区の拠点整備

▶市役所仮設 庁舎跡地 (現在は駐車場)



市役所

## コンパクト

## レジリエント

ポートの増設による市内シェアサイクル事業 の推進、災害時の電源供給



## コンパクト

## レジリエント

5地区にあるコミュニティ・ センター( ) の充実・強化 による地域力向上、ソーラー 蓄電池ステーション導入による 公共施設の災害時の電源確保、 再エネ・省エネの加速化



各コミュニティ・センターを中心としたエリアのイメージ

# 計画図

# 主な事業 中心市街地の活性化(駅前再開発、にぎわい交流拠点の整備等)

中心市街地

・「にぎわいの交流軸」として、リニューアル整備 (道路の拡幅整備、歩行空間の確保、色彩等を考慮した車道整備に よる明るいイメージの商業空間の創出等)し、商店街を活性化

・自然と歩いてしまうウォーカブルなまちづくりを目指すスマートウェルネスシティの推進となる事業を展開(商店街の催しとの連動等)

中山道

蕨駅前と中山道を結ぶ商店街通り

į

中心市街地

駅前商店街通りの

かり整備にあり整備

中山道地区における、にぎわいを創出する新たな交流拠点の整備 (市役所仮設 庁舎跡地を活用)



にぎわいをもたらす新たな集客拠点で ある駅西口地区の再開発の推進 市内中心部から 市内全域の にぎわいへ!!

# 計画図

主な事業

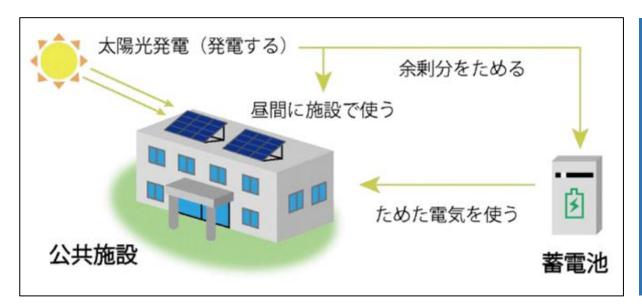
# ソーラー蓄電池ステーション整備事業

## 【目的】

災害時の避難所となる市内公共施設を中心に、ソーラー蓄電池ステーションを設置し、拠点機能(電力復旧までの施設機能の維持等)の強化を図る。なお、平時においては、昼間は発電した電力を使用し、夜間や停電時には蓄電池で貯めた電力を有効活用するなど、再エネ・省エネの利活用の加速化を図る。

## 【設置場所】

災害時の指定避難所(公民館等)を含む市内公共施設(予定)



## <事業スケジュール>

### 令和7年度:

市内公共施設等への導入基礎調査を実施(約50 施設対象)、設置施設の 選定

令和8年度以降: 順次設置開始

# 【コンパクト】事業一覧

事業名	実施 主体	事業内容	スケジュール						備考
于木石			R7	R8	R9	R10	R11	R12 以降	VHI 15
中心市街地の活性		蕨駅西口再開発事業や中山	(にぎわい交流拠点)						
		一	事業者選定、基本	x·実施設計、施工		通	用		
化の推進(にぎわい 交流拠点、蕨駅西口	市・民間	わい交流拠点の構築、駅前	(蕨駅西口再開発)						
再開発、駅前商店街	事業者等	と中山道を繋ぐ駅前商店街 通りのリニューアル整備など	施工、再開	発組合への支援・協議等	F	ۇ	竣工・供用開始	_	
通りのリニューアル 整備)	4	通りのリニューアル登偏など を通じて、市内全域ににぎわ いを創出・波及させる。	(駅前商店街通りのリニ 整備に向けたワーク ショップ・基本設計	ューアル整備) 実施設計	リニューアル 整備工事				
後)の文化・芸術拠 体・事	市・団体・事業		活用方針の調査	査・研究、庁内検討会の3	なち上げ	検討を踏まえ <i>1</i>	た活用方針に基づく事業(	の推進	
	者等				現図書館の移転				
スマートウエルネス シティ(健幸)の推進	市	コンパクトシティ蕨の特性を生かしつつ、「歩いてしまう、歩き続けてしまう」ウォーカブルなまちづくりに向けて、ソフト・ハード両面から全庁的に市民の健康(幸)づくりを推進する。	公園への健康遊具 設置、ウォーキングルート 上の整備等			ンブラン」に基づき、各種!! 見の設置など、ソフト・ハ-			R7年度の実施 事業は、ふるさと 創造資金(県)を 活用予定
健康長寿蕨市モデ ル事業(コバトン ALKOOマイレージ) の推進	市·県	埼玉県の「コバトンALKOOマイレージ」と連動し、ウォーキングの促進を通じた市民の健康づくりを支援する。	颜	市健康長寿モデル事業の	)推進(コバトンALKOO	マイレージの周知・ポイント	〜付与、健康講座の開催	等)	
民間事業者と連携し たシェアサイクル事 業	市·民間 事業者	民間事業者と連携し、市内 にシェアサイクルポートを設 置し、市民の交通利便性の 向上や地域の活性化、環境 に配慮した交通システムの 構築を進める。	シェアサイクル実証実験 (公有地、民有地への		R	9年度以降の実施は、ま	部正実験等を踏まえて検討	र्च	

# 【コンパクト】事業一覧

事業名	実施 主体	事業内容	スケジュール					備考	
<del>************************************</del>	主体	サネハ谷	R7	R8	R9	R10	R11	R12 以降	NH 75
		公民館と老人福祉センター の複合施設を建設すること							
多世代交流拠点(錦町コミュニティ・センター)整備事業	市	にヒュア 夕州仏六法の伽	・実施設計・施工(既存建築物の除却、本体工事等)						

# 【スマート】事業一覧

<b>亩</b>	実施 事業名 事業内容						備考				
李未石	主体	<b>事業内容</b>	R7	R8	R9	R10	R11	R12 以降	NHI 42		
公共施設のICT化の		市内公共施設に予約システムを導入し、市民の利便性向上を進め、施設利用の活性化を通じて、地域コミュニティの一層の醸成を図る。また、公共施設のWi-Fi整備を進める。	(市内公共施設予約シン ・導入に向けた調 査・研究 ・事業者選定	ステムの導入) ・業務委託 ・利用者説明		運用					
推進	ф		(公共施設のWi-Fi整備	j)	整備に向けた調	查·研究·導入等			)		
【再掲】 健康長寿蕨市モデ ル事業(コバトン AKLOOマイレージ) の推進	市·県	埼玉県の「コバトンALKOOマ イレージ」と連動し、ウォーキ ングの促進を通じた市民の 健康づくりを支援する。	蕨	市健康長寿モデル事業の	D推進(コバトンALKOO)	マイレージの周知・ポイント	〜付与、健康講座の開催	等)			
健康づくりへのICT の利活用の促進	市·民間 事業者 等	健康データの活用、電動車 いすシェア事業など、健康づ くりへのICTの利活用を促進 し、市民の利便性や取組効 果の向上を図る。			利活用に向け	た調査・研究等					
公式LINEの活用に よる行政情報の伝達 強化	市·民間 事業者 等	市公式LINEの導入・活用により、市民のニーズに合致した行政情報(防災・防犯、子育て・教育、医療・福祉等)を適切かつ迅速に伝達し、市民の利便性や行政情報へのアクセスの向上など図る。	事業者選定、システム構築等		実装(R7年度)	・運用開始・サービスのチ	<b>正</b> 実等		導入に当たっては、国の新しい地方経済・生活環境創生交付金 (デジタル実装 TYPE1)を活用予定。		

# 【レジリエント】事業一覧

事業名	実施	<b>声张</b> 力宛	スケジュール						/#. <del>**</del> .
<del>李</del> 耒石	主体	事業内容	R7	R8	R9	R10	R11	R12 以降	備考 
ソーラー蓄電池ステーションの設置	市	災害時に避難所となる市内公共施設にソーラー蓄電池ステーションを設置し、災害時の電源確保のほか、再エネ・省エネの利活用の加速化を図る。	導入基礎調査	R 7年度の導	算入基礎調査を踏まえ、	頁次、公共施設にソーラー	蓄電池ステーションを設置	₫·運用開始	
【再掲】 民間事業者と連携し たシェアサイクル事 業	市·民間 事業者	民間事業者と連携し、市内 にシェアサイクルポートを設 置し、市民の交通利便性等 の向上を図る。また、電動自 転車の電源設備については 災害時の利活用を検討する。	シェアサイクル実証実験 (公有地、民有地への		R	9年度以降の実施は、	実証実験等を踏まえて検?	討	
公共施設等の耐震化・長寿命化の推進	市•民間 事業者 等	上・下水道、橋梁などを含む 公共施設・設備の耐震化・長 寿命化を推進し、レジリエン スの強化を図る。	(蕨市	市公共施設等総合管理	施設の点検・維持管理 計画や個別施設計画、各		き耐震化・長寿命化を推	進)	
コミュニティバス・公 用車のEV化等の促 進	市·民間 事業者 等	コミュニティバス・公用車の EV化等を促進し、循環型社 会の実現を目指すとともに、 レジリエンスの強化を図る。	公用車のEV	化の推進(一部 R 7年	度に導入予定)、コミュニ	ティバスのEV化に向けた	調査·研究、運行事業者	との調整等	

## **KPI**

コンセプト	指標	基準値(調査時点)	目標値(達成年度)	備考
全体	まちへの愛着度(市民意識調査)	68.9% (令和6年度)	75% (令和11年度)	令和7年度からの5年間で約 5%の増加を目指すもの。
コンパクト	「中心市街地・商店街の活性化」の施策満 足度(市民意識調査)	2.67 (令和6年度)	3.0 (令和11年度)	令和6年度意識調査にて、当 該項目は平均値(概ね3.0)を 下回っているため、ポイントの 向上を目指すもの(満点は5.0 ポイント)。
コンパクトスマート	健康長寿蕨市モデル事業(コバトンALKOOマイレージ)参加者数	1,663人 (令和6年度)	2,000人 (令和11年度)	第3期蕨市まち・ひと・しごと創 生総合戦略における数値目標。
レジリエント	災害時に避難所となる市内公共施設への ソーラー蓄電池ステーションの設置数	O施設 (令和6年度)	3施設 (令和14年度)	公共施設への導入基礎調査 の結果等を踏まえ、同ステー ションを設置することで、拠点 機能の強化を図るもの。
レジリエント	「防災対策」の施策満足度(市民意識調査)	3.37 (令和6年度)	3.5 (令和11年度)	過去の実績値等や施策効果 を見込んで設定するもの(満 点は5.0ポイント)。